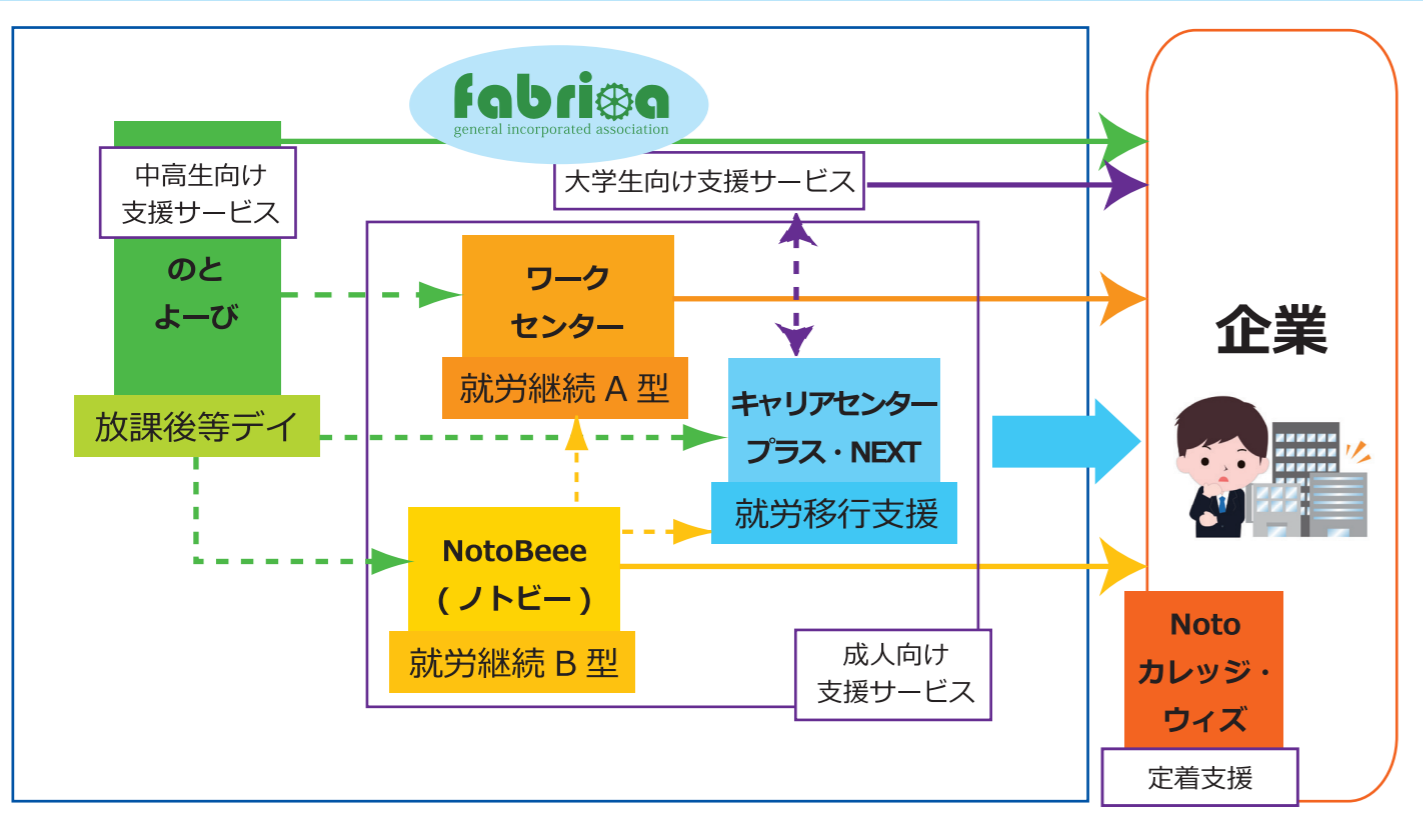


One Stop :



障害のある方の就労を「ワンストップ」でサポート

就労を目指す方の、「働きたい」を応援し、利用ニーズを充足するため、様々なサービスでサポートします。

Notoくらぶ

- 就労移行支援
- 就労継続支援 A 型
- 就労継続支援 B 型
- 就労定着支援
- 放課後等デイサービス
- 相談支援
- 就労困難大学生支援

2021年
1月

Contents

● 新企画：企業様の声 「二甲株式会社」

- 総合実践プログラム「SojiPro」のご紹介
- 就労定着支援事業「Noto カレッジ・ウィズ」サービスのご案内
- 就労系サービス（移行・A型・B型・定着・放デイ）のWEB なんでも相談会と見学会
- 今月の就職事例（キャリアセンタープラス）
- 各事業部のご紹介



のとよーび

体験・見学会 随時受付中!!

就労準備型「のとよーび」では、将来就労を目指す高校生に対し、働く力を身につけるトレーニングを行っています。実践・コミュニケーション・機能トレーニングを中心に毎日たくさんのお子さんが頑張っています。毎月1回、休日に体験・相談会を実施しております。相談会ではお子さまの将来についてのご相談にも対応いたします。

今後の予定

- ・ 2月27日(土) 13:00～17:00
- ・ 3月27日(土) 13:00～17:00

< 休日授業内容 >

- ・ 楽しくコミュニケーションカアップ
- ・ 実際のお仕事を体験してみよう



ワークセンター

はたらくチカラ

就労継続支援 A 型 / Noto カレッジ・ワークセンターでは、障がいや難病をお持ちの方が、雇用契約を結んで、施設外（企業）でのお仕事、施設内（事業所内）でのお仕事を行って頂きます。具体的な作業として施設外（企業）での作業は、軽作業・清掃作業・梱包作業といういろいろな仕事があります。また施設内（事業所内）の作業は、書類電子化（スキャニング）・データ入力・印刷物制作・web ページ制作と様々な仕事を用意しております。

様々な仕事を行っていただき、働く自信をつけて一般就労を目指していきます。まずはお気軽に見学にいらっしやってください!

- ・ 就業日：月～金曜日
※土、日、祝日休み（会社カレンダー）
- ・ 勤務時間：9時～16時
- ・ 休憩時間：昼食1時間 / 午前・午後各10分



NotoBee 利用者募集中!!

私たち Noto カレッジが目指す「就労継続支援 B 型 / NotoBee(ノトビー)」は、利用される方たちに、『はたらくためのチカラ』を高めて、もっと社会で活躍するぞ! という気持ちをいつまでも持ち続けられることのできる事業所を目指します。

お問い合わせ

体験・見学会
受付実施中!!



TEL 0584-77-7631
担当 堀・寺澤まで





実践型カリキュラム SojiPro のご紹介



企業で働くを意識する

総合実践プログラム「SojiPro」は、「気づきのプログラム」です。Noto カレッジでは、企業で働くためには、「周りの状況を見る」「考える」「判断する」「行動する」という力が、重要だと考えています。普段、カリキュラムを通して学んできたことを、実践的且つ会社形式で集中して行うことにより、利用者さん自ら「気づき」を得ることができます。その「気づき」を「働くチカラ」に変え、社会に飛び立つ準備ができるプログラムとなっています。

毎月 SojiPro の期間始めは、利用者さん自身が自分たちで主体的に動いていくということがなかなか難しいですが、期間終了付近になると、利用者さんの行動や表情が大きく変わっています。SojiPro を通じて、たくさん気づき大きく成長する機会となっています。

今月の成功事例 (キャリアセンタープラス)

事業所内での愛されキャラの T さんは、いつも利用者さんやスタッフ話しかけられて、何故だかみんなが構いたくなってしまう人柄でした。みんなで体を動かすカリキュラムでは、だれよりも楽しそうに動いていたのが印象的です。でも、体力がなくなると息切れしてしまうことも多かったです。さらに T さんは自分に自信がなく、働くイメージがつかないこともあり、就職に不安を感じていました。事業所内での作業トレーニングでは、周りに甘えて、作業がなかなか進まないこともありました。そのため、就職活動へ一歩前に進むことができませんでした。

しかし、いざ企業実習が始まると、本来の真面目な性格に、あきらめずに取り組む姿勢が加わりました。体力的に苦しい部分もありましたが、2 週間の実習をやり遂げたことは T さんの自信になり、見事内定をいただくことができました。

働き始めた T さんは、Noto に通所していた時とは別人のように体力がついています。そして、自信もつき、生き生きと働いています。

実際に働く実習を経て、働くイメージをつけていただき、自信をつけて就職することができた就職事例です。

1月のカレンダー

- 【実践】のと会社
- 【コミュニケーション】
- 【ビジネスマナー】挨拶
- 【特別授業】
- 【総合】SojiPro「総合実践プログラム」
- 【就労】会社のしくみ



就労定着支援事業サービスのご案内



就労定着支援事業とは

就労移行支援、就労継続 A 型、B 型事業所から就職された方に対し、企業での雇用が継続できるように、利用者との相談を通じて生活面の課題を把握したり、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要となる支援を行う事業で、入社後 7 か月目から最大 3 年間の利用が可能です。

このサービスは**就労移行支援、就労継続支援 A 型、B 型を利用して就職された人であれば、どなたでも利用ができます**。弊社の支援を受けた方以外（他事業所を利用していた人）の支援を受けた方でも利用が可能です。

2021 年 明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

Noto カレッジウイズは、今年も利用者さんがより長く企業で働けるような支援を行ってまいります。

- みなさんのこんな不安を解消できるように支援しています。
- ・休憩時間に、他の社員さんとの関わり方で困り、一方的な態度をしてしまった。
 - ・作業手順が混乱し、人の少ない倉庫で叫んでしまった。
 - ・社員さんに業務連絡をしたが、返ってきた返事が冷たかった。
 - ・仕事の 1 つの部門を任せられたので嬉しかったが、出来ると思われていることがプレッシャーに思える。
 - ・周りの社員さんから声を掛けられることが少ない。
 - ・他の方の仕事が気に入りパソコンを見てしまい嫌な顔をされた。

Noto カレッジウイズでは利用者さんの不安を、毎月企業を訪問した際に企業担当者からお話をお聞きしたり、本人と面談を実施することで解決に向けた支援を行います。

2018 年 10 月からサービスを開始し、支援の効果があって現在の**定着率は約 85%**となっています。今後も利用者さんの相談窓口のひとつとして、長く働けるように支援してまいりますので、本年も宜しくお願い申し上げます。

NIKO 企業様の声 二甲株式会社取締役 古田様より

二甲株式会社の古田と申します。

弊社は、西濃地区で唯一の製造、特例子会社となります。

12 月 14 日現在、弊社は 6 名の相談員と障害者従業員 26 名が在籍しております。

知的障害者 22 名、精神障害者 3 名、聴覚障害者 1 名となります。

弊社は、親会社、三甲株式会社の特例子会社として平成 24 年 4 月が設立し現在では 9 年目に当たります。親会社である三甲株式会社はプラスチック製造販売トップメーカーで、東京本社、岐阜本社を中心に北は北海道から南は沖縄まで営業拠点 9 支店、69 営業所を配備し、北海道から九州に配置された 27 工場において各地域で生産、出荷を行い、一千億円以上を売り上げる企業です。

弊社は三甲株式会社、岐阜県不破郡垂井町に配置された岐阜第 2 工場内に併設されております。サンコー商品の加工委託業務、リース業の三甲リース株式会社よりリースされた折りたたみコンテナ（通称オリコン）の清掃委託を中心に行っております。

弊社では、障がい者の従業員には『自立』を課題に取り組んでいます。我々も同様に親が居ますが、我々と同じく、何れ御子様達が残り一人でも生きる力を養わなければなりません。「会社でも家でも自分でできる事は自分で行う」ことを指導しています。

当たり前のことが当たり前になるようにする。

仕事に於いては、第一に「安全」、第二に「品質」、第三に「効率」の順で徹底指導します。弊社は、相談員を配置した指導の強みを活かし、各製品、各加工の一品ずつ「作業要領書」を作成し「作業の見える化」を図っています。

相談員が先ずは、作業要領書を基に、やって見せ、説明し、やらせてみせ、出来たら「誉める」。出来なければ、一緒に作業をする。出来たら「誉める」。の順で出来るまで指導します。一連の作業が安全かつ品質上、問題なければ、効率よく作業できるよう、次に「コツ」を実践で指導します。一人一人の得意、不得意が異なるため、相談員が、しっかり観察し得意な部分を直して行きます。また、作業の中で「数える」事をさせない仕組みを取り入れています。知的障害者の子達の中には「数える」事が苦手な子が居ます。数える事が出来る子、出来ない子も「数えなくて良い」ため、全員が数える時間のムダが排除され、数える緊張もありません。休憩時間には、相談員と障害者が一緒の机で一緒に休憩、食事を摂ります。何時も明るい笑顔と笑い声がする団欒です。そうすることにより、障害者の子達が相談員へ相談し易くなり、現場での作業が円滑に進む事に繋がっています。

Noto カレッジさんのお付き合いが始まったのは令和 1 年 11 月、K 君の弊社見学でした。

K 君が弊社チャレンジトレーニング実習を経て、令和 2 年 2 月に弊社の同志として勤務開始となりました。

経過観察において、Noto カレッジスタッフの堀さま、寺澤さまが来社され K 君の働く姿、弊社の相談員の指導など見て御興味を持たれ、本年の夏に紹介頂いた T 君を 10 月に採用しました。

我々企業、就労移行支援事業所(Noto カレッジ)、障がい者就業・生活支援センターが、しっかりと情報共有し障害者の子達の未来が開けるものと確信致します。

新型コロナウイルス対応に伴う緊急

WEB 相談会と 1 月 29 日、2 月 23 日の見学会のお知らせ

新型コロナウイルスの終息が見えない中でも、就労系福祉サービスについてお知りになりたい、進路のひとつとして検討したいなどのお声をいただいております。感染リスクを考え来所しての見学会が不安な方を対象に ZOOM による見学会を随時開催しております。

また、1 月 29 日、2 月 23 日に Noto カレッジの就労系サービス（移行・A 型・B 型・定着・放デイ）の現地見学会も開催いたします。

就労系福祉サービスについてお知りになりたい方、どんな福祉サービスが合っているのか分からない方、どんなことでも結構です。お気軽にお問合せください。

